

令和6年度 延岡青朋高等学校 総合評価(定時制課程)

『評価』は4段階の数値で行う。4:十分達成されている 3:ほぼ達成された 2:やや不足な点がある 1:ほとんど達成されていない

重点目標	具体的な方策(P)	結果と課題(D)	自己評価(C)		改善策または充実項目(A)	学校関係者評価			
			項目別	総合		評価		項目別	
						項目	総合		
「確かな学力」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態を踏まえた教育課程および評価方法の検討の継続 ○国語、数学、英語における学校設定科目の開講を継続させ、学び直しや進学希望生徒へのニーズに対応する。 ○教科代表者との連携により、開講している科目群の検討を行なう。 ○公開授業の実施を計画し、充実させる。 ○教育DX推進の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・F 群に家庭総合を開講し、学びの選択の幅を広げた。半期Ⅰ 単位の科目群を除き 2 時間連続授業を開始した。 ・数は少ないが、例年同様にⅡ部3修及びⅡ部生徒にも力を入れている。 	3		<ul style="list-style-type: none"> ・すべて新課程科目での運用になった。教務部及び教科代表者との連携により、微調整を行い生徒及び学校のニーズに対応したものになってきている。 ・新科目対応の評価規準及び評価基準の見直しや新たな科目のシラバス等の作成した。 ・新課程移行に伴い、教務部内規を改訂した。 	3.5		<ul style="list-style-type: none"> ・単位制の学校における新教育課程への移行は内容面もだが、カリキュラム面での工夫の苦労があることと思う。教務内規の改定や評価基準の見直しなど関連する業務も多く、その中で生徒のニーズに細かく対応できていることが素晴らしい。 ・新たな時代に対応した評価は大変でしょうか、生徒さんの特性やニーズに応じた教科の工夫をして下さい。 ・公開授業では、先生方のやる気、生徒同士の協力を感じました。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○授業力および単位修得率の向上 ○月別指導計画を作成し、授業の振り返りを行うことで、個々の授業力向上を図る。 	3		<ul style="list-style-type: none"> ・教科会を通じて日々の授業改善や専門性の向上に努めることについて継続してお願意している。 	3		<ul style="list-style-type: none"> ・通常どおりの日々の授業を実施できている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○アクティブラーニングの視点を取り入れた研究授業及び授業研修や、ICTを活用した研究授業及び授業研修を実施することで単位修得率向上のための一助とする。 	3		<ul style="list-style-type: none"> ・授業研修では ICT 利用を中心にして意義のある研修を実施し、すぐに授業等で生かされた。 ・ペーパーレス化を実施できた。 ・11月に公開授業週間を実施し、40名の生徒・保護者・評議員の方々が授業参観に来られた。また、教育課程説明会&授業参観を12月に実施できた。意義のある行事運営であった。 	3.3		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から一人一台端末が3学年揃った。また、モニタの導入も進むなど各教室及び体育館での ICT 化が進み、授業環境が充実した。グループラスルームや ICT 活用した授業研修会を数多く実施できた。ICT の利用状況も増えている。 ・公開授業週間では多くの中学生、保護者、学校評議員の方に来校していただけた。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○キャリア教育全体計画に基づくグループ毎の取り組みの充実。 ○キャリアパスポートの有効活用。 ○進路情報の積極的な共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでのキャリア教育の資産を受け継ぎながら、A・C・D グループとの連携により、取組の再構築を進めている。 ○積極的な進路情報の提供と担任の支援を進めている。 	3		<ul style="list-style-type: none"> ○各グループの独自性を大切にした、キャリア教育の推進に努めて行く。 ○キャリアパスポートの効果的な活用について改善を進める。 	3		<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートの有効性についての検証もそろそろ出てきてもいいかと思います。労力に見合うものを残していくことも必要かと思います。 	
2	豊かなる心	○生徒指導と教育相談が一體となったチーム支援(問題行動の未然防止への常時指導や教育相談との情報の共有化や巡回指導の強化)	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談との情報共有をすることができた。巡回も夕休みに計画的に実施してきた。 	3	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も教育相談・職員と情報共有を行い、巡回も強化週間として計画的に行なっていきたい。 	3.8	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・生活体験発表での県最優秀賞、全国大会での受賞おめでとうございます。常日頃の先生方の努力の賜だと思います。県大会での発表も聞かせていただきましたが素晴らしい内容でした。 ・青朋高校には様々な分野で秀でている生徒も少なくなく、

	<p>○礼法やマナー指導の充実(集会や式典での指導の充実)</p> <p>○学校行事・人権教育の充実(生徒会や生徒専門委員会との連携強化・いじめや暴力根絶に向けた指導の充実)</p> <p>○生徒会やボランティア活動の充実(生徒会や生徒専門委員会との連携強化)</p> <p>○自己・他人の命を大切にする心の育成</p>	<p>・集会や式典等注意を受ける生徒もほとんどいない。</p> <p>・文化祭など生徒会を中心に自主的な活動が見られた。</p> <p>・県生徒生活体験発表大会において本校生徒が最優秀賞に輝き全国大会に出場し、全国大会でも入賞を果たし、石澤奨学会賞を受賞した。</p> <p>・「大切な命を守る」全国中学・高校作文コンクールにおいて警察庁犯罪被害者等施策推進課長賞を授業した。</p> <p>・「いっしょに読もう!新聞コンクール」において、奨励賞を受賞した。</p> <p>・生徒会でゴミ回収や自転車の施錠チック等主体的な活動が出てきた。ボランティア活動にも参加する生徒もできた。</p>		<p>・集会、式典でのマナーは良好である。継続して指導していきたい。</p> <p>・文化祭について日程・内容とも検討していく予定である。</p> <p>・生徒の主体性を大事にしながら、教員でサポートしていきたい。</p>		<p>その能力を磨き発表する時間や機会にも恵まれていると感じます。そのような生徒への手助けを今後も続けていって欲しいと思います。</p> <p>・多様な指導ありがとうございます。先生方のチームが一体となり、生徒へ心配り、配慮が伝わったと感じます。日々の行動、継続は大変だと思います。今後も継続した指導、教育に努めてください。</p> <p>・生徒の主体性を大事にして、見る、見守る、口出さない、手出さない、指導される先生方大変な苦労をしていると思いました、生徒への指導ありがとうございます。</p> <p>・多くの分野で生徒が活躍していることは素晴らしいと思います。</p> <p>・更なるご指導を期待します。</p> <p>・ボランティア活動の単位の反映の有無、導入は。</p>
	<p>○時・場所・場面(TPO)に応じた礼法、マナー指導、及び各種活動を通した自己指導能力(社会性)の育成。</p>	<p>・年度当初にSHR・授業の初めと終わりの起立・礼の統一指導を行っている。</p> <p>・Dグループの面接指導等を通して礼法を意識づけた。</p>	3	<p>・日常的なTPOに応じた言葉遣いの定着には至っていない。敬語を意識する指導を継続していきたい。</p>	3	<p>・反復的・継続的に指導されることを期待します。</p> <p>・敬語は使えなくても生きていける為、特に必要と感じない子供たちがいるかもしれません。大人社会、常識的な世界では、敬語が使えた方が、会話が成り立つ為、また組織人、会社経営者になるには必須だと思います。引き続き生徒への指導教育に努めてください。</p> <p>・場に応じた相手の気持ちをくみ取ることのできる生徒さんを育てて下さい。</p>
	<p>○学校生活アンケートや日常の相談を通して、いじめや人間関係のトラブル、深刻な悩み等をすくいあげ、対応策を検討する。</p> <p>○人権学習に関する職員研修を実施し、生徒および職員の人権意識を高める。</p>	<p>・前期1回、後期1回の学校生活アンケートや担任による面談を通して早めに生徒の状況を知ることができた。いじめはゼロであった。</p> <p>・職員研修を実施し、人権学習に関する理解を深めた。</p>	4	<p>・障害や特性、困難さに応じた指導・支援について理解を深める事が大切である。</p>	4	<p>・障害いや特性についての理解もすい、ぶん進んできたように思います。難解な分野もあり、解釈については日進月歩だと思いますので更なる研修の継続をお願いします。</p> <p>・社会的・身体的に様々な状況を抱えた生徒も在学していると推察します。生徒が学校での学びを継続できるように担任面談やアンケートを実施し、問題点を早期に抽出する体制を整えていること、さらに応対する職員の研修も実施されており、高く評価できます。</p> <p>・いじめ0でも気を抜かず、生徒の変化を見逃がさないための情報共有をして下さい。</p>
	<p>○読書週間を通して本に興味を持つもらい、POPコンテストの充実を図る。</p> <p>○授業・自習における図書館の有効的な利用の促進と図書館利用時のマナー育成を促進する。</p> <p>○1人当たりの貸し出し冊数の目標3冊を目指す。</p>	<p>・生徒たちは読みたいたい本を準備し、集中して読書を行った。</p> <p>・POP作成の取組状況も良く、殆どの生徒が作品を提出した。</p> <p>・授業・自習での図書館の使用が増加し利用の促進が図られた。今後はマナーの更なる向上を図りたい。</p> <p>・一人あたりの貸出冊数は3.6冊(R6年12月現在)目標達成。</p>	4	<p>・読書週間及びPOPコンテストを通じ、読書に関する興味・関心を高めるための工夫改善を図る。</p> <p>・図書館利用のマナー向上を生徒図書委員会活動を通じて呼びかける。</p> <p>・今後も貸出冊数3冊を目標とし、常に目標をクリアできるよう工夫改善を怠らないようにする。</p>	4	<p>・読書することは、自分の人生以外の経験を共有、共感することができる素晴らしい教材です。活字だけ大変と思う生徒もいると思いますが、本と向き合う時間は気持ちを落ちさせ、著者の気持ちを共感、又は高揚することができる為、継続して本に興味を持つ活動をお願いします。</p> <p>・目標3冊を超え、たくさんの本を読んでいる生徒さんいますね。</p> <p>・1人3冊の目標は達成できたのでしょうか。生徒が読みやすい、読みくなるような図書を入れることも大切ではないでしょうか。</p>
3	<p>「僕やかたに」の育成</p> <p>○基本的な生活習慣の確立(生徒専門委員会との連携強化)</p> <p>○健康教育の充実(各種研修会の充実)</p> <p>○保健安全教育の推進(各種研修会の充実)</p> <p>○部活動の活性化(心・技・</p>	<p>・生徒専門委員会で「歩きスマホ」や「ごみの分別」、「自転車の施錠」等声掛けや活動を行ってきた。</p> <p>・外部講師を招いて研修会を実施した。</p> <p>・男子卓球部、女子</p>	3	<p>3.5</p> <p>・「歩きスマホ」や「ごみの分別」については改善が必要であるが、「自転車の施錠」概ねできた。</p> <p>・部活動の活動数、参加人数とも例年よりも多く、6月の定通大会</p>	3.3	<p>3.6</p> <p>・部活動の指導、先生方ご苦労様です。大会後も活動をしているとのことで、素晴らしい感じます。</p> <p>・携帯電話の指導は学校でしっかりお願いします。便利な品物ですが、失敗することも多々あると思います。</p>

		体の強化・部活動規定の見直し)	バドミントン部、女子バスケットボール部が全国大会に出場した。		以降も活動を希望する生徒も多くなってきた。部活動の活動内容や活動費用についても検討が必要である。				
		○生徒が危機管理意識や、施設等の安全管理、保健安全に关心を持ち、自ら考える力を育成するため、環境教育や防災教育、心肺蘇生法実技講習、講演会等を実施する。	・今年度も予定通り防災訓練(年3回)や各種講演会を実施することができた。課題としては、地域の方が参加する訓練を増やして、地域連携を充実させていく必要がある。	4	・11月に実施する夜間防災訓練の内容(講師の講演や生徒会の発表)が充実しているので、来年度は地域住民へ参加を促したい。また、本年度実施した職員向け不審者対応研修がとても有意義だったので、来年度は生徒向けの研修も企画したい。	4	・夜間防災訓練ができるのは定時制ならではですね。実際夜間に災害が起きることが多いように感じます。暗い中での避難の経験は貴重だと思います。 ・災害発生時は地域住民との連携が必要不可欠になると思われます。地域住民との合同防災訓練の実施に期待します。 ・防災訓練による地域連携は今後の地域社会で重要な役割だと感じます。若い世代が主体となり、若い世代の目線で課題、改善を訓練に活かし、継続した指導を望みます。 ・研修・訓練は必要です。数多くやってください。 ・地域、地区防災訓練等への積極参加、学習。		
4	学校創生『チーム青朋』	○各関係者・関係機関等との適切な連携を図る	・スクールカウンセラーや、ソーシャルワーカー、ハートサポーター、市の相談支援センターなどと連携を図り、支援につなげた。	4	・様々な事情や特性のある生徒が増えてきているので、今後も専門家と連携を図りながら生徒に対応していくことが重要である。	4	・外部との連携も増え、支援が充実してきています。その分担当の先生は大変かと思いますがよろしくお願いします。 ・経験した事例は個人情報の保護に留意して職員研修等で共有されることを期待します。 ・専門家を積極的に活用して下さい。		
		○PTA活動によって保護者と学校との連携・協働を図る	・総会、役員会、高P連県北大会等様々な場面で保護者の協力を得ることができた。 ・本校PTAが、宮崎県教育優良団体表彰を受賞した。	3	3.3	・次年度は、メール連絡網「マチコミ」を利用して全保護者に行き渡るようにしたい。	3.3	3.6	・新しいネット上の連絡網を導入することで苦労も多いかと思いますが、利便性も上がるのではないか。 ・保護者への連絡通知は通年の課題だと感じます。携帯が普及しアプリもあり便利な世の中ではありますが、情報の受け取り方にも課題があり、情報発信しても確認されないこともありますため、引き続き「マチコミ」の活用をお願い致します。 ・限られた保護者の方の活動でしょうが、活動に一生懸命の保護者を活用した魅力ある学校づくりをして下さい。
		○行事での通信制との連携を図り、全校的な協力体制を確立する。	・卒業式会場作成及び片付けで、定時通信お互いに協力し合えた。	3	3.5	・後期卒業式は、別々の開催となつたが、式後の片付けも合同で行うよう計画している。	3.5	3.5	・定時、通信お互いに協力して共通の作業が行いえる環境は素晴らしい事だと思います、定時、通信が共通で行う作業はいろいろな経験にもつながります年代も多少前後する中で社会経験にもつながります、今後もこのような協力関係の継続を望みます。 ・活動は別々でも情報は共有して仲良くして下さい。